

## 学位論文タイトル紹介

惑星科学関連分野にて博士号および修士号を近年取得された会員の研究内容を学会員に広く知ってもらう目的で、論文タイトルを掲載いたします。項目は、(1)氏名、(2)論文タイトル(現題名)、(3)論文タイトル(和訳名)、(4)論文提出時の所属、(5)学位取得年・月、(6)次の所属、の順です。希望者は、論文の結果を最もよく表す図を1枚掲載できます。この記事に関するお問い合わせは編集長(chiefeditor@wakusei.jp)までお願いいたします。

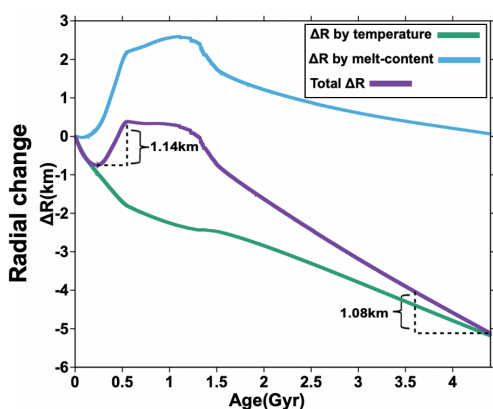
※毎年6月号に、過去3年まで遡って掲載可。投稿方法等はomlにて案内いたします(2月頃)。

### 博士論文

- |   |  |
|---|--|
| <p>(1) 小野寺 圭祐(おのでら けいすけ)</p> <p>(2) Subsurface structure of the Moon and Mars deduced from 3D seismic wave propagation simulation and analysis of Apollo and InSight seismic data</p> <p>(3) 3次元地震波伝搬シミュレーションおよびアポロ・インサイトで取得された惑星地震データの解析による月・火星の地下構造の推定</p> <p>(4) 総合研究大学院大学 物理科学研究科 宇宙科学専攻 / Université Paris Cité・École doctorale Sciences de la Terre et de l'environnement et physique de l'Univers Laboratoire Terre et Environnement (ダブルディグリー)</p> <p>(5) 2022年3月</p> <p>(6) 東京大学 地震研究所</p> | <p>for hydrogeochemistry of early lakes on Gale Crater, Mars</p> <p>(3) 二価鉄の光酸化:火星ゲイルクレータ古湖の水文学地球化学への示唆</p> <p>(4) 東京大学大学院 理学系研究科 地球惑星科学専攻</p> <p>(5) 2022年3月</p> <p>(6) 東京大学大学院 理学系研究科 地球惑星科学専攻</p>                 |
| <p>(1) 奥谷 彩香(おくや あやか)</p> <p>(2) New Approaches toward Understanding the Bulk Composition of Solid Exoplanets from Observations</p> <p>(3) 観測から系外固体惑星の組成を解明する新しい方法論の開拓</p> <p>(4) 東京工業大学 理学院 地球惑星科学系</p> <p>(5) 2022年3月</p> <p>(6) 国立天文台 科学研究部</p>  | <p>(1) 辰馬 未沙子(たつうま みさこ)</p> <p>(2) Material Strength of Dust Aggregates in Planet Formation</p> <p>(3) 惑星形成におけるダスト集合体の物質強度</p> <p>(4) 東京大学大学院 理学系研究科 天文学専攻</p> <p>(5) 2022年3月</p> <p>(6) 東京工業大学理学院 地球惑星科学系 奥住研究室</p> |
| <p>(1) 田畑 陽久(たばた はるひさ)</p> <p>(2) Photo-oxidation of ferrous iron: Implications</p>   |  |

## 修士論文

- (1) 于賢洋(う けんよう)
- (2) Evolution of the lunar interior by migrating magma
- (3) マグマの移動による月の内部進化
- (4) 東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻
- (5) 2022年3月
- (6) 東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 博士課程



マグマの生成・移動の効果を考慮した月の一次元球対称マントルモデルにて、観測と整合的な半径膨張・収縮史を示すことができた。